2018（平成30）年３月７日発行

No. 77

鹿私幼だより

会　報

（一社）鹿児島県私立幼稚園協会
発行人／上原　樹縁　編集／調査広報委員会
〒890-0064 鹿児島市鴨池新町5番6号
（プロパンガス会館５階 502 号室）
TEL099-285-6688 FAX099-285-6689
ホーム･ページ　http：//muzoca.net
E-Mail　jimukyoku@muzoca.net

『良質の教育・保育を願ってこそ』

鹿児島県私立幼稚園協会
会長　上　原　樹　縁

子ども・子育て支援新制度が施行され早３年が経過します。私ども私立幼稚園協会は，私学助成幼稚園，施設型給付幼稚園，幼稚園型認定こども園，幼保連携型認定こども園の４類型145 園の加盟園で構成されています。それぞれの立ち位置に違いはありますが，その使命は唯一無二で「子どもの最善の利益」と成り得る教育･保育の提供ではないでしょうか。私たちは，その教育・保育の直接の提供者（実践者）である職員の「質の向上」を心より願います。職員の確保や処遇改善，キャリアアップ研修を含めた研修体制にも着手していかなければなりません。各園においても，職員の確保・定着・育成といった仕組み作りと，その定着を図っていきましょう。

また，今年度改訂された幼稚園教育要領，幼保連携型認定こども園教育・保育要領，保育所保育指針は，それぞれ平成 30 年度４月より施行されます。間もなくです。これらの要領等を十分に理解・実践していくなかで，自園の理念や教育・保育内容の在り方等をしっかりと丁寧に見直し再構築していくことが，教育・保育の「質の向上」へと繋がっていきます。そして『幼児期の終わりまでに育ってほしい姿』をしっかりと丁寧に小学校に伝えていきましょう。平成32 年度より小学校教育要領が改訂施行されます。今回の要領等の改訂に伴う私たちのこれからの教育・保育実践は，まさしくこれからの日本を，世界を背負って立つ「ヒト」づくりの基礎となります。私たちの使命はこれまで以上に大切に取り扱われていきます。これらのことを各自が強く認識し，みんなで力を合わせ，ともに育ちあいながら，「良質の教育・保育」を有言実行していきましょう。

最後に，今年度も（一社）鹿児島県私立幼稚園協会の事業活動に対し，多大なご理解ご協力を賜りました。協会役員を代表いたしまして，心より感謝申し上げます。感謝。

教育研究委員会

教職員の資質向上と教育活動の充実に向けて

教育研究委員長　内薗　良喜

Ⅰ　平成29年度の活動を振り返って

「子ども・子育て支援新制度」が施行され，３年目を迎えた。幼稚園，認定こども園等に対する保護者の関心も更に高まり，ますます保育の質の向上が問われるようになっている。特に，０・１・２歳児の教育・保育の充実は大きな課題であり，その視点からも研修内容の工夫・改善を図り，魅力ある充実した研修会になるように努めた。各研修会の所期の目的は達成できたと考えるが，いかに研修の成果を自分の力量として累積し，日々の保育実践に還元していくかが今後の課題である。

１　新規採用教員研修会

第１回目を４月４日（火）に，第２回目を12月26日（火）に実施した。１回目は86名（約55％）の参加で，研修態度も熱心で緊張の中にも意欲が感じられた。２回目は71名（約45％）でやや参加者が少なかった。しかし，経験したからこその感想や意見，悩みなどが出され，意義ある研修ができたと考える。「これからの保育に生かしていきたい」「同じような悩みを抱えていいることが分かってほっとした。」などの感想が多く寄せられた。

２　主任等研修会

６月14日（水），「マリンパレスかごしま」で実施した。主任の役割と課題，起こりやすい事故やその未然防止策，年間行事・活動の計画や実施などについて，講話や体験発表，グループ協議を通して熱心に研修した。本年度は，昨年以上の約71％の参加があり，参加者からは「有意義だった」，「自園でも生かしていきたい」などの意見が寄せられた。

３　第56回鹿児島県教職員研修大会鹿児島大会

７月21日～22日，鹿児島市民文化ホールを中心にして，全体会と12分科会を実施した。1099名の教職員が参加した。本年度は，会場，全体講師の都合により１日目を全体会，２日目を公開保育と分科会とした。会場園にはご迷惑をおかけしたが，各園並びに鹿児島市支部のご理解・ご協力のおかげで計画どおり実施できた。

４　第18回乳幼児教育・保育実践講座

８月２日～３日に，「マリンパレスかごしま」で開催した。幼保連携型認定こども園にも視点を当てるようにし，「乳幼児期の健康教育と健康管理」「子ども理解における観察と評価」「子どもの発達と音楽表現」「反省的実践者としての保育者」「気になる行動の理解と具体的な支援」など５つの講座を設定した。本年度の参加者は108名で保育者としての資質向上や技能習得に大いに役立ったという感想が多かった。

５　免許状更新講習（選択６時間）

乳幼児教育・保育実践講座の１日目の２講座を当てて実施した。44名の受講者があり，講師の適切な指導もあり全員合格した。久しぶりの試験にとまどった受講者もいた。

６　第21回幼稚園等教育改善研究会

１月26日(金)～27日(土)に大隅地区(鹿屋市)で開催した。参加者は78名。１日目は，昨年に引き続いて西南学院大学の門田理世先生の講演とワークショップがあり，世界と日本の保育の比較やＰＥＭＱの手法を用いた園内研修等について研修を深めた。

２日目は，みくに幼稚園と清谿幼稚園からのすばらしい発表と，設置者・園長部会と教諭部会に分かれての研究協議が行われた。教諭部会では時間が足りないほど熱心な協議が行われ，又，設置者・園長部会では労務管理等に関する講師の講話や質疑応答が行われ，いずれも有意義な研修となった。

７　各支部・ブロックごとの研修

各支部・ブロックにおいて，教育研究部員を中心に年間研修計画を立て，経営，教職員の資質向上，県大会のテーマ研究，当面する課題等について研究・実践を推進し，大きな成果を上げていた。各支部の研修意欲の高さが感じられた。また，それぞれすばらしい講師を依頼しており，その情報交換も行われた。

８　保育教諭等研修会

県男女共同参画課からの委託を受けて，11月７日～８日に「マリンパレスかごしま」で開催した。

研修内容として，新幼保連携型認定こども園教育・保育要領，０・１・２歳児や３・４・５歳児の教育・保育，特別支援教育，感染症対応，実技指導等を設定した。県内の公・私立の幼稚園，保育所，認定こども園の218名が参加して熱心に研修した。

９　特別支援教育スキルアップ研修会

特別支援教育に特化した研修会として，２月13日に初めて開催した。70名の参加があった。発達支援移行シートの活用や発達障害への気付き，竹の子幼稚園の実践等について研修を深めた。明日からの実践に活かすためのワークショップも行った。「詳しく学ぶことができた」「一人一人のこどもの特性を見極めながら向かい合っていきたい」などの感想が寄せられた。

Ⅱ　平成30年度に向けて

平成30年度から新幼稚園教育要領等に基づく教育・保育が展開されることになっている。こうした変革や社会の要望等に柔軟且つ適切に対応しながら今後も子どもの目線に立ち，また，子どもの発育・発達を踏まえて，適切な乳幼児教育・保育を進めていかなければならない。そのためには，常に研修態様や研修内容，研修方法等の工夫・改善を図っていく必要がある。又，各園における系統的・効果的な園内研修や学校評価等も促進していく必要がある。

平成30年度の第57回県教職員研修大会南薩大会が意義ある大会となるよう，又円滑に推進・運営できるよう関係者と緊密に連携をとっていきたい。

政策振興委員会

平成３０年度に向けて

政策振興委員長　**島谷　精利**

すべての子どもに質の高い幼児教育を保証することや子どもたちの最善の利益の実現のため日々設置者・園長先生方は努力されていることと思います。

さて，新制度の下，施設型給付の園に対しては，処遇改善や処遇改善パート２等の様々な加算がなされており，私学助成の園に対しても処遇改善の動きがあるものの，制度の違いにより同じような補助は難しい現状です。私学助成の園でも施設型給付の園と同様に人材確保が重要な問題となっており，教職員の処遇改善の実施は重要な課題となっています。

平成29年度は，私学助成と施設型給付という二つの立場で予算の要望や陳情を行ないました。平成30年度も様々な形態の施設が混在する中での活動となります。要望先が県だけでなく市町にまで広がることになってきます。市町への要望は各地域の園での交渉となることが多くなると考えられますので，各地域の行政機関との繋がりを深めていただきたいと思います。

皆様のご意見を元に実情に即した活動と前年度同様以上の予算獲得に努力していきたいと思います。

１　これまでの政策委員会の経緯

⑴　九州地区幼児教育合同会議・自治体・役員交流研修会

九州各県の団体長，行政の担当者，政策委員長の談話で今後の課題について意見交換を行った

⑵　公明党（国会議員，県議，市議，）

昨年に引き続き公明党との意見交換会が開かれ子ども・子育て支援新制度についての意見交換を行った。

⑶　自民党友好団体意見交換会（国会議員，県議，鹿児島市議）

子ども・子育て支援新制度について，私学助成と施設型給付について等の意見交換を行った。

⑷　自民党県議団私学振興調査会幼稚園協会意見交換会

調査会に説明を行い新制度について理解を深めていただいた。

私学助成園に対する処遇改善の実施の補助ができる仕組みの創設を要望した。

人材確保のための給付型の奨学金の創設を要望した。

⑸　県知事への予算要望書提出

例年私立幼稚園の「経常費補助金」への財源措置並びに現在予算化されている項目の補助金について，可能な限りの引き上げと新制度下での変化に対応する予算措置及び多子世帯への保育料軽減措置をお願いした。

私学助成園に対する処遇改善の実施の補助ができる仕組みの創設を要望した。

退職金社団への補助金の増額を要望した。

２　今後の課題

平成28年度からの子ども・子育て支援新制度のもと，施設型給付園には処遇改善等の各種加算が始まり，平成29年度から私学助成の園に対しても処遇改善の動きがあります。しかし，制度の違いにより，施設型給付に比べると私学助成の園の方が，改善にともなう負担が大きくなっています。

平成30年度も引き続き，県を通じて，市長間のばらつきが起こらないように指導していただくよう要望をするとともに，各市町村の担当者へは，新制度に公私幼保並びに地域間の格差がないように「負担の平準化」がうたわれている事なども理解して頂けるように努めたいと思います。

また，教職員の処遇改善につきましては，制度上，施設型給付園と私学助成園の処遇改善費用が同額となることは難しいと思いますが，可能な限り近づけるように要望していきたいと思います。

公私幼保並びに地域間の格差が無くなる様に各支部ブロックにおいて近隣の幼稚園や認定こども園・保育所などと連携し情報を共有して，各担当市町村に対し要望して行かなければならないと考えられます。

したがいまして今後も，支部・ブロック・各園が市町村の担当課との良好な関係を築くことが重要となりますので，そのような関係を結べるよう努力しなければならないと思います。

経営研究委員会

活　動　報　告

経営研究委員長　三木　隆朋

今年度の経営研究委員会の主な活動は，以下の通りです。

①県教職員研修大会第 12 分科会において，小学校との連携についての提言
②平成 28 年度の財務状況調査及び分析
③私立幼稚園教員採用候補者試験の実施
④県設置者・園長研究協議会において，「今こそ幼児教育の『質』を考える～子どもの育ちを見つめて～」のテーマのもと講演・協議会の開催
⑤九州地区会及び全国設置者・園長研修大会への参加
⑥九州合同就職説明会への参加
⑦学生・幼稚園教諭及び保育教諭希望者向け DVD 制作の企画・立案

平成 29 年度の経営研究委員会及び経営研究部会では，喫緊の課題である「人材確保」に重点を置き，雇用できる環境づくりの推進を目的として，採用候補者試験のあり方や，鹿児島県版合同就職説明会の実施，養成校の学生や幼稚園教諭・保育教諭希望者だけでなく，中学生・高校生も対象にした幼稚園教諭の魅力を伝えるためのメッセージ DVD 制作を企画検討してきました。平成 30 年度には，リニューアルした形で皆様へのご提案ができるよう計画しております。DVD につきましては，今年の７月に完成予定ですので，夏の鹿児島県私立幼稚園教職員研修大会でお披露目ができればと思っています。

また，財務分析に関しましては，今までの表記のあり方を一新して，「私学助成園」「施設型給付幼稚園」「幼保連携型認定こども園」「幼稚園型認定こども園」の４類型を支出・収入など各項目ごとに見開きで見ていただけるように工夫しました。現段階の財務状況が，視覚的にも分かり易くなったとの声もいただき嬉しく思っております。また，数字から読み取れる各類型の特性も明らかになり，各園のこれからの課題が見えてきました。それらの一つ一つを精査して，加盟園の皆様へご提言できるように進めてまいります。

今期の経営研究委員会（部会）は，各委員の先生方が，危機感と熱い気持ちを持って会議に参加してくださっており，どの委員会にも負けない活気があります。委員の先生方には，この場をお借りして敬意を表したいと存じます。

最後に，加盟園すべての皆様には，多大なるご理解を賜り感謝申し上げますとともに，今後とも経営研究委員会へのご協力をよろしくお願いいたします。

認定こども園委員会

小さくても機動力のある委員会へ

認定こども園委員長　輿水　　基

認定こども園委員会は新制度施行に伴う様々な不安や疑問に応えるため、特別委員会として誕生しました。皆さんの知りたい、聞きたいをアンケートとしてまとめ、各委員会ごとに新たな活動の方向性や不足している部分があることを提言としてまとめて理事会等で答申してきました。2016年度は開店休業状態であったため、2017年度は委員会を活発に活動していこうとしたら予算上の都合により断念。委員会としてではなく、委員が企画する勉強会として、機動力のある、ニーズに応えやすいカタチを生み出すことができ、2017年度は４回の勉強会ができ、延べ172名の参加がありました。

第１回は「指導監査，管理，運営について」で地域振興局の監査と鹿児島市の監査について、実際に事前調書をもとに2016年度に監査を受けた園からポイントを説明してもらいました。

第２回は「子ども子育て会議，市町村格差について」と少し難しいテーマ設定でしたが、保護者負担額の比較から見えてくる市町村の子ども子育てに対する姿勢が数字として表れたり、県子ども子育て支援会議の資料から読みとれることを伝えることができました。また、肝付町が2017年度より３歳児以上の無償化を始めたことを我がこととして捉えるワークを通して、奇しくも12月の衆議院選挙で声高に叫ばれた「幼児教育の無償化」を先駆けて検討する場となりました。

第３回は質の向上に不可欠な「園内研修，会議，打合せについて」をテーマにして、全日本私立幼稚園幼児教育研究機構が進めるECEQ（通称イーセック：Early Childhood Education Quality System）の取り組みについて、機構の委員として出向されている先生からご説明いただきました。また、新制度をきっかけに幼保連携型認定こども園になった園が職員数の増加による課題とそれを踏まえた取組を通して目指している質の向上を発表してくださいました。最後に改訂される要領のポイントを「３・３・３・５・１０」で掴みやすくする話がありました。

最後の第４回は「乳児保育について」で、幼稚園から幼保連携型へ移行した園においての最大の関心事であり、研修が不足している分野について勉強会をすることができました。実践発表として大空幼稚園の吉松先生（主幹保育教諭）とのぞみ

幼稚園の平佐田先生（主幹保育教諭）に自園の取り組みをお話し頂きました。最後に改訂要領の解説（仮）の乳児部分を読んで自園の乳児保育について振り返るワークをして終えました。

特別委員会として、既存の委員会が動きにくい部分を補うかたちで活動ができたことはとても良かったと思います。もはや「認定こども園」のみを想起させる委員会名ではなく、喫緊の諸般の課題や幼児教育無償化の検討と対策・提言などもできる委員会となるべく新しい名前を思案中です。よい知恵をお寄せ下さい。

鹿児島県私立幼稚園協会
会長表彰　優秀教員表彰を受けて

宮園　貴子
鹿児島市
幼稚園型認定こども園
和光幼稚園

このたび，『鹿児島県私立幼稚園協会会長表彰』をいただきました。

幼稚園の時の大好きだった担任の先生のようになりたくて，この道を目指しました。

憧れの『幼稚園の先生』になり，たくさんの子どもたち，保護者の皆様，様々なことを温かく指導してくださる先輩の先生方，いつも明るく支えてくれる仲間に出会いました。

幼稚園の先生という好きな道を歩んできただけの私が，このような素晴らしい表彰をいただくことができたのも，これまで出会った方々のおかげであると感じ，大変有難いことと感謝しております。

子どもたちとかかわる日々の中で，子どもの成長していく姿に喜びと感動をもらうとともに，私自身も子どもたちから多くのことを学んでいることを実感しています。

幼児期という大切な時期に携わる一人の保育者として，改めて自分の姿を見つめていきたいと思います。

今後も，様々なご縁を大切にしながら，自己研鑽に努めてまいります。

今回の受賞に携わってくださったすべての皆様に感謝申し上げます。

ありがとうございました。

鹿児島県私立幼稚園協会
永年勤続者　表彰を受けて

堀之内　学
鹿児島市
認定こども園
桜ヶ丘中央幼稚園

昨年７月第 56 回県私立幼稚園教職員研修大会において、63 名の教職員の方々と共に表彰を受けたことを大変有難く思います。

私は、鹿児島県内の小学校教師を 18 年経験し平成 13 年４月から私立幼稚園の副園長・園長を 17 年間歴任し、現在は理事長・園長として働かせて頂いております。教師時代に偶然の出会いで巡り会った多くの方々や本園教職員の支えによりこの日この時を迎えることができました。

特に幼稚園から認定こども園に移行した際では、私立幼稚園協会・認定こども園協会の関係役員の方々のご指導により年齢と共に自分自身を育てて頂いたと思っています。

乳幼児の０歳から５歳の子どもの育ちは特に目ざましいですが、その子どもたちに直接に関わる保育教諭・園の設置者の資質や力量で大きく変わることを日々実感します。少子高齢化が進み、保育士の不足が叫ばれる中ではありますが、この受賞を機会に『働き方改革』の推進『働きやすい環境づくり』に向けて精一杯の気持ちで取り組みたいと思っています。

私を育てて頂いた多くの方々に感謝しながらお礼に代えたいと思います。ありがとうございました。

鹿児島市支部

鹿児島市支部では，総務・政策・経営研究・教育研究・広報の５常置委員会を設け，それぞれの委員会が年間計画を立て実践した。

年度初めの総会において，下記のような重点課題を承認していただき，各委員会が計画的に取り組み成果を上げた。

１　重点課題

⑴　各補助金の増額要望と「新制度移行」についての合議。

※一時預かり事業（一般型）の幼稚園導入の実現

※子ども未来部保育幼稚園課との連携

⑵　幼稚園教育要領や幼保連携型認定こども園の趣旨を生かした保育研究，並びに教育課程に係る教育時間終了後に行う教育活動の充実

⑶　教員の資質向上を目指す各種研修会への参加促進

・各ブロックの研修活動の充実。公私立幼稚園保育研究会への参加。

⑷　自己評価及び学校関係者評価の実施と公表の充実

⑸　幼稚園・認定こども園の学びを社会に認知してもらうための企画充実

※「リビングかごしま新聞」との連携（広告の在り方）

⑹　円滑な接続を目指した幼保小連携の充実。小学校長会との連携・充実

⑺　個々に応じた発達支援の在り方と個別の指導計画・支援計画の作成

⑻　幼児の健やかな育ちのために，保健・衛生・食育の充実

⑼　安心・安全で楽しい幼稚園の環境づくりへの取組み強化

２　総務委員会

①「ホームページだより」の発行　②「テレホン相談サービス」の継続　③幼稚園教育要領や幼保連携型認定こども園に関する情報提供

３　政策委員会

①市当局への助成等の要望と子ども未来部との連携　②加盟園全園の一致協力した活動の取組みとＰＴＡ・振興議員との連携

※振興議員の「一日園長」実施。３名が体験　８年間で延べ 41 人

４　経営研究委員会

①財政基盤確立への方策（収入増加の取組み・保育料の適正化・補助金の増額・収益事業の拡大）　②理事長･園長研修会にて幼稚園教育要領等の理解を図った。（８月 22 日）

講師　金　娟鏡氏（鹿児島大学教育学部准教授）「幼稚園教育要領等の改正に伴う理解」を理事長・園長・主幹教諭に熟知してもらう研修会

５　教育研究委員会

①教育課程の編成の充実　②教師の資質向上と指導力向上のための研修の充実　③研修会の参加促進　④理事長・園長の研修の推進・充実　⑤主幹教諭及び主任教諭の資質向上（主任研修会の充実）　⑥第 17 回「絵本の読み聞かせ活動発表会」平成 30 年１月 23 日（火）の実施

６　広報委員会

①「かごしま市私立幼稚園だより」の発行　②新入園児募集活動の広報　③第 13 回「かごしま市私立幼稚園フェスタ」９月 10 日（土）の実施

※約 3000 人の来場があり、幼稚園の良さ発信に尽力した。　（支部長　富永　宏）

南　薩　支　部

南薩支部は、指宿市、南九州市、南さつま市、枕崎市の 12 園が加盟しており、地域の幼児教育推進、私立幼稚園の振興のため、そして子どもたちの大切な幼児期に関わりを持つ責任の重さと大切さを胸に子どもたちの将来を見据えて一緒に成長する教師・幼稚園でありたいと日々保育を行っております。支部の現状として少子化・地域の過疎化の影響を受け、私立幼稚園は厳しい状況にあります。幼児教育・保育制度が大きく変わろうとしている今、支部内の先生方と情報や問題点を共有し、幼児教育の重要性を内外に訴えていくことも大切なことです。しかし現代の幼児教育・保育制度が変わっても、時代が変わっても変わらない大切なものがあることを、私たちは伝えていきたいと思っております。

平成 29 年度南薩支部の活動としては、８月５日（土）の夏期研修会にとして「園内の安全を守るための講話・実技演習」をテーマに指宿警察署より講師を迎えて学び、加えて「園内の取り組みや保育の悩みを共有する交流会」を計画していました。しかしながら、台風５号の接近のために中止となりました。

２月 17 日（土）の冬季研修会では鹿児島女子短期大学児童教育学科の丸田愛子先生を講師に迎え、『新幼稚園教育要領について』について講演いただきました。新しい教育要領について改めて学ぶことができました。

長野幼稚園主任教諭の畑野裕太郎先生により「日々の保育で使える運動遊び」の紹介と実技指導をしていただきました。支部内で共に働く身近な先生が持つ特技を活かして分かち合うことができたのは、また特別な学びとなりました。

最後になりましたが、今年度教職員研修大会で問題提起をしていただいた長野幼稚園の先生方には大変なご苦労をしていただきました。この場を借りて、心より感謝申し上げます。　（支部長　坂田　茂）

西　薩　支　部

西薩支部は、北は出水郡長島町から南の日置市までと南北に細長い支部で 18 園が加盟しています。

支部の活動としては，年４回行われる教育研究委員会で，夏の西薩支部教職員研修大会の企画と準備をし，支部における課題などを協議しました。昨年は、８月に夏期教職員研修会を、今年度は鹿児島純心女子大学にて行いました。

支部 PTA の活動として，11 月 21 日（月）に西薩

ママさんバレーボール大会を薩摩川内市のサンアリーナせんだいにて開催し，楽しく親睦をはかることができました。

鹿児島県私立幼稚園 PTA 連合大会を当番地区として 11 月 28 日（火）に日置市伊集院文化会館にて行いました。

１月 21 日（日）には、神村学園初等部講堂にて西薩うたう会が開催されました。参加園は少なかったですが，素晴らしい歌声が講堂内に広がり楽しいひと時を過ごすことが出来ました。

新しい制度がスタートして３年目となり、同じ支部の中に違った形態の園や同じ園に認定の違う子どもたちが，混在することの違和感が，なくなってきたように感じられます。

このような環境の中，連携をとりすべての子どもの最善の利益ために，また，素晴らしい幼児教育の提供のため努力していきたいと思います。

（支部長　島谷　精利）

大　隅　支　部

大隅支部では，３月 21 日の支部総会で今年度の活動をはじめました。「大隅私幼教師研修大会」を６月３日，吾平振興会館で開催。午前中は県大会での助言もご依頼していた富永宏先生（県協会副会長）をお迎えして，「子どもたちのやさしさや思いやりの育ちを考える」と題して講演をいただき，午後からの分科会では問題提起園である大隅中央幼稚園を中心に，それぞれに持ち寄った研修レポートを基に熱心な討議が行われました。８月は「夏期教師研修大会」を霧島ロイヤルホテルで開催，鹿児島大学教育学部の金娟鏡先生に「改訂要領・指針は新しくここが変わる」と題して学び，一泊二日で相互の懇親を兼ねた楽しい一時となりました。「大隅主任研修会」は隔月奇数月，年６回開催。大隅地区研修会テーマは勿論のこと様々なテーマに基づき学びを深めました。11 月には松下幼稚園に公開保育をして頂きました。認定こども園に移行した園が半数を超える中，外に出向いての研修参加に困難を覚える園も増えてきつつありますが，「私学は研修が命」という思いで，様々な形で支部研修を工夫継続していきたいと考えています。その意味では県内他の支部の取り組みも，大いに学ばせていただきたく存じます。四市三町に広がる大隅支部は 21 園と広範囲の大所帯ですが，全園協力的で心から感謝しています。

（支部長　吉井　健）

姶良・伊佐支部

姶良伊佐支部では，２月 16 日に園長会を開催し，次のような意見が提出され協議をした。

１．霧島市私立幼稚園 PTA について

霧島市私立幼稚園 PTA が姶良伊佐 PTA の活動と重複していることや、認定こども園の増加による保護者の就業など、活動に多くの問題が生じている。霧島市の PTA の活動は霧島市園長会の主催にすることで解散したい。近日開催の霧島市 PTA に提案することにした。これに基づき、姶良伊佐支部私立幼稚園 PTA 連合会の活動をさらに強化していきたい。

２．認定こども園協会の設立について

霧島市私立幼稚園協会では、６年前から保育協議会と緊密に連携した園長会を実施、また保育園職員との共通理解を図り、資質向上のため訪問研修においては合同で開催してる。認定こども園協会の設立については、保育協議会と統合することで検討したい。また、姶良伊佐地区についても今後拡大検討していきたい。

３．訪問研修について

保育園職員も参加することで、参加者が相当数に及び、研修先の幼稚園では収容が困難となったことから、公共施設での研修に振り替えることにした。また、この研修をキャリアアップ研修に位置付けられるよう運動を展開したい。

４．その他、当局への１号・２号園児の給食費の補助の要請などを協議した。

姶良伊佐の園長会の結束は固く、新たな子育て支援について積極的に検討するなど、その協調性に心から感謝しています。

（支部長　鬼塚　俊郎）

熊毛・大島支部

本支部は種子島６園，屋久島３園，徳之島２園で構成されています。離島ということもあり，全園参加の研修や交流活動は困難です。したがって，種子・屋久地区と徳之島地区それぞれで教職員研修や園長研修等を定期的に行っております。

種子・屋久地区では，例年６月及び２月に地区の教師研修会を実施しています。各園持ち回りで会場園，司会園，発表園，記録園を担当し，県協会の教育研究委員会において示された研究テーマを中心に，様々な内容で研修をしています。本年度は６月 10 日に屋久島町のすみれ幼稚園で，中州小学校長の今井和代先生を講師にお招きし，きりすとこども園による２年目の分科会発表内容について研修しました。また，１月 13 日には西之表市のきりすとこども園にて，次年度１年目発表園である西之表幼稚園の研究発表案概要を基に，各園の事例を持ち寄り，テーマ研究についてどのような柱で研究を進めるか意見交換を行いました。その後，年齢別のグループに分かれて，保育や運営の課題，取り組みの内容，新幼稚園教育要領等の理解について意見及び情報交換をしました。このように発表園のみならず，発表テーマを全園で取り組み，各々事例を出し合う形式を取っています。その上で，発表園の研究内容を高めていけるよう各園の園内研修で研究を重ねているところです。このような研修を２年に１回は宿泊研修にし，教師間の交流・慰安として楽しんでおります。また，１年に１回持ち回りで公開研究保育を実施しております。本年度は８月１日に西之表市のめいろうこども園で行われました。新制度開始３年目が過ぎ，各園とも一層深刻な人材不足で危機的状況です。地区全体で取り組む課題として，機会あるごとに知恵を出し合いながら，地域に根ざした幼児教育の継続と質の向上を目指していきたいと思います。

（地区理事　圖師　和俊）

平成 30 年度の主な行事（予定）　＝ 2018 ＝

行　事　名	期　日	場　所
第１回新任教員研修会	４／４（水）	マリンパレス かごしま
県私幼協会・県ＰＴＡ 監事監査	４月／未定	協会事務局
一般社団法人私幼協会理事会	４月／未定	協会事務局
一般社団法人退職金基金社団 監事監査	４月／未定	協会事務局
一般社団法人退職金基金社団理事会	４月／未定	協会事務局
県ＰＴＡ指導者研修会	５／９（水）	サンロイヤルホテル
一般社団法人県私幼協会総会 一般社団法人退職金基金社団総会	５／18（金）	マリンパレス かごしま
県ＰＴＡ連合会総会	５／29（火）	黎明館講堂
九州地区私立幼稚園 退職金団体代表者会議	６／７（木） ６／８（金）	熊本県
全国私立幼稚園退職金団体協議会総会・研修会	６／14（木） ６／15（金）	愛知県
県主任研修会	６／15（金）	マリンパレス かごしま
第 34 回九州地区設置者・園長研修大会（宮崎大会）	６／28（木） ６／29（金）	宮崎県

行　事　名	期　日	場　所
平成 30 年度教職員研修大会 南薩大会	７／23（月） ７／24（火）	指宿市民会館
第 34 回九州地区教師研修大会長崎大会 免許状更新講習（２日目分科会）	８／６（月） ８／７（火）	長崎県
第 19 回幼児教育相談実践講座 ※免許状更新講習（１日目）	８／８（水） ８／９（木）	マリンパレス かごしま
教員採用候補者試験	未　定	未　定
第９回幼児教育実践学会	８／17（金） ８／18（土）	東　京
平成 30 年度 設置者・園長研究協議会（県私幼）	未　定	鹿児島市
第 33 回 九州地区ＰＴＡ研修会	９／20（木）	佐賀市
全日私幼設置者・園長 全国研修会	未　定	栃木県
平成 30 年度 保育教諭等研修会 （もし開催するとなれば）	11／６（火） 11／７（水）	マリンパレス かごしま
九州地区免許状更新講習講座	12／１（土） 12／２（日）	福岡必須 12 時間 ＊実施予定です
第２回新任教員研修会	12／26（水）	マリンパレス かごしま
第 22 回 幼稚園等教育改善研究会	１／25（金） １／26（土）	ホテル リブマックス鹿児島

平成 30 年度
第 57 回 鹿児島県私立幼稚園教職員研修大会　南薩大会（案）

大会テーマ「子どもたちの今と未来の幸せをねがって」（１年次）
～一人一人の豊かな育ちを支える質の高い幼児教育を～

〔日　程〕

第１日目　７月23日（月）【分科会：南薩支部11の幼稚園等】

9:30	10:00	11:30	11:45	12:45	15:35	15:45
受付	公開保育（保育参観・会場園見学）	開会行事	昼食	問題提起・分科会（中間に休息・後半に指導助言）	閉会行事 諸連絡	解散

第２日目　７月24日（火）【全体会：指宿市民会館】

9:20	10:20	10:40	10:50	11:40	12:50	13:40	14:00	15:30	15:45
受付（ポスター発表）	特別出演	開会式準備	開会式	昼食（ポスター発表）	講習	休息（準備）	講演	閉会式	解散

でっくばらん

平昌オリンピックでの日本人選手の活躍に連日沸き立つ今冬です。怪我からの見事な復活，そして連覇を遂げた羽生結弦選手。冬季五輪日本人最年長での金メダリストとなった小平奈緒選手。このオリンピックで全ての色のメダルを獲得した高木美帆選手。南国鹿児島の我々にとっては馴染みの薄いウィンタースポーツですが，日の丸を背負って懸命に頑張る姿に熱い声援を送り，日本人であることを意識させられるスポーツの祭典です。

幼稚園連合会が進めてきた求人サイト「幼稚園ナビ」の中身も充実してきました。これからの鹿児島･日本の子どもたちを，情熱をもって育てたい，共に成長していきたい，幼稚園で働く仲間を待っています。新卒，再就職の情報だけでなく，これからは様々な研修情報や登録にも便利なサイトになっていきます。それぞれの幼稚園さん，先生方，幼稚園で働きたい方々の「幼稚園ナビ」へのたくさんの登録をお願いします。

この１年間，原稿執筆や様々な協力をいただいた皆様に感謝しつつ，調査広報活動へのお礼を申し上げます。

調査広報委員長　武　祥三